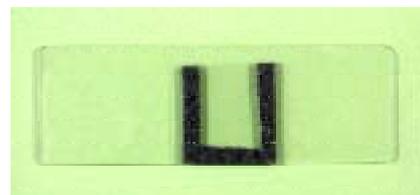


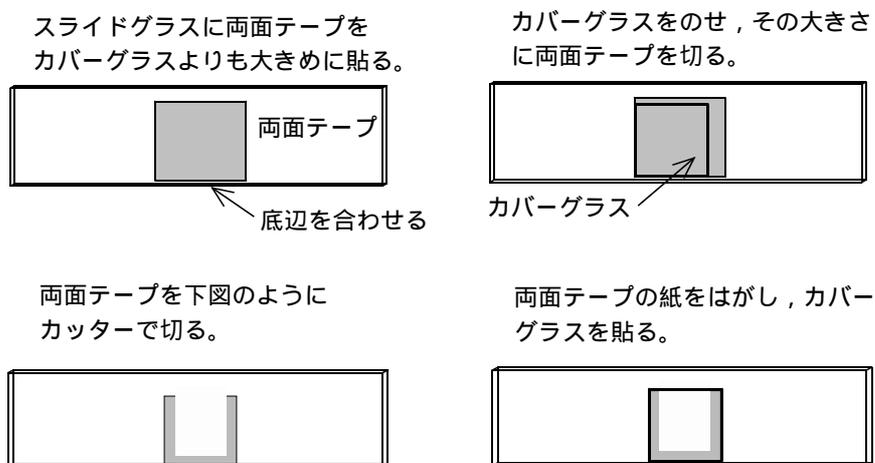
5年	倍率を上げて簡単に観察できる
	微小水槽の作製と使い方

顕微鏡の観察には、スライドガラスで作製する微小水槽が便利です。40～100倍で観察すると、心臓の拍動や拍動に伴って動く血球の様子がはっきりとわかり、6年生の「動物のからだのつくり」につながる観察ができます。



1 微小水槽の作り方

材料：スライドガラス，カバーガラス，厚手の両面テープ（超強力両面テープ 厚さ1.3mm）
卵が入る厚みが必要なので，使用する両面テープは必ず1.3mm厚のものを使う。



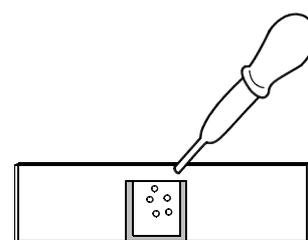
カバーガラスの代わりにOHPシートを切断して利用すれば，割れることはない。

2 微小水槽の使い方

(1) メダカ卵は，スライドガラスにピペットの先端を当てながら水とともに流し込む。

2mlのピペットが最も使用しやすい。

観察中に卵の向きを変えることは困難。いろいろな方向から観察する必要があるときは，5個程度入れるとよい。



(2) 卵を取り出す時は，スライドガラスを振ってペトリ皿などに落とす。うまく落ちなかった時は，枝付き針などでかき出す。

1時間程度の観察

- そのままステージに乗せて観察する。微小水槽に入っているため，動かしても揺れたりすることなく観察しやすい。

